



藤田 まりあ
 (埼玉・116期)

12/20(水) 21(木) 22(金)
ウィンチケットミッドナイト競輪 FII (ミッドナイト・ガールズケイリン)

2023年12月 前橋競輪日程表

● 前橋記念開催 ● 前橋競輪 F I ● 前橋競輪 F II ● ミッドナイト
 ● 場外発売 ● 利根西前売 SC・館林のみ発売

	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
前橋																								
館林・利根西																								

※変更となる場合がございます。ご了承下さい。 併売は全レース発売です。★はナイター ♥はガールズケイリン

二宮歩美の LOVE M K

毎年、この時期になると必ずテーマは年末に開催される最高峰のレース、競輪グランプリの話題に。
 約2200人中のTOP9だけが走ることができ、誰もが憧れる舞台。
 華やかで煌びやかな世界である反面、その称号を手にした瞬間に喜びは束の間、今度は大きな責任やプレッシャー、重圧を感じ始めるのか？
 そして、SS級になったどの選手も口を揃えていう言葉の一つ、肩書きに負けない【真のSS級】を深く追求していく探究心を感じるのですが、やはりTOPに立つ選手ほど現状に満足せず、更なる高みを目指しているなど。
 なりたかったものになり、立ち上がった場所に立ち、そこをまるでゴールのように感じる人もいます。と思いますが、実際はむしろここからが新たなスタート。
 本当に自分はその称号に相応しいのか？
 賞金でGPに乗った選手は誰が必ず、G1のタイトルを獲得、もう一度返り咲きたいと言う。タイトルホルダーですら、もう一度タイトルを獲得することでまぐれではないことを証明したいと2度目の制覇を目指す。長年、SS級に在籍している選手は更なる高みを目指し、どうしたら少しでも長く高い位置でキープ出来るかを考え出す。
 その中で一番、辛いのが持続すること、続けることなのではないか？と最近、より思うようになりました。
 選手もよく口にしてますが、年を重ねる中で体力や気力の限界を感じることも増え、その壁をいかに破ってまたキャパを広げていくか。時間を使い方や人間関係にも今一度、向き合い、整理をするのは大切なことだと思わされます。
 色々なものを削ぎ落として、シンプルに向き合っている分、伴ってくる結果がある。そして、輝かしいステージの裏に人知れず、努力やそれぞれの覚悟があるとすると、2024年の新たな顔ぶれを含め、9名の選手の最高峰の戦い。今から楽しみですね！

小宮あやかの 欲張りな何が悪い？

初めまして！10月より前橋競輪中継アシスタントを務めさせていただきます。よろしくお願いいたします。ケイリン女子部の小宮あやかと申します。
 私自身のことを少しお話しすると、ローライダーデビューというローラースケートを履いた種目の元日本代表をしていただきました。競輪と同じでトラックを周回するスポーツであったので、予想にも活きた情報をお伝えできたと思います。
 本日は12月20日から22日に開催の当場ミッドナイト出場予定の選手についてもお話ししたいと思います。
 ○稲村成浩選手(A1/69期) 師匠は実父である稲村雅士元選手(16期)で、稲村好将選手(81期)は弟である。12月18日に52歳の誕生日を迎えられます！おめでとございませう！！
 ○甲斐康昭選手(A1/89期) 日本競輪選手会群馬支部の支部長さんです。個人的に興味深いのは、バイクが趣味でZEPHYRに乗っているらしい、疾走感という面で前橋競輪場に合っているのではと思います。
 ○河内桜雪選手(L1/122期) 12月31日で21歳となる。TikTokでは可愛すぎる競輪選手としてバズっており、11月18日にはXのフォロワーが15,000人超え。皆さんの声援を背に勝利に繋げることができると。
 他にも若林耕司選手(A2/87期)、神澤瑛菜選手(L1/116期)も出場予定であり、地元三割増という言葉がある通り活躍を期待したいですね！！
 今月末には1年の集大成であるグランプリシリーズもあり、1開催1開催、熱のこもるレースになりそうので私も楽しみです！

★★★ 前橋競輪キャンペーン情報 ★★★ 対象レース ▶12月20日(水)～22日(金) FII (ウィンチケットミッドナイト競輪)

① **キャッシュバックキャンペーン!**

KEIRIN.JPの電話・インターネット投票で対象レースの開催期間中、合計10,000円以上ご投票いただいたお客様を対象にキャッシュバックいたします。
【賞金】 現金10,000円×10名様
 ※キャンペーン終了後、当選者の発表は現金の振込をもって代させていただきます。 ※CTCホームページでの事前エントリー制になります。 ※民間サイトからの投票は対象外です。

② **前橋競輪中継 視聴者プレゼント!**

CS放送及びインターネット中継の番組中に出題する簡単なクイズやキーワードを正しく答えた方の中から抽選で次の賞品をプレゼントします。前橋競輪ホームページから応募ください。
A賞 JCBギフト商品券(5,000円分) / 1名様
B賞 前橋競輪オリジナルクオカード / 10名様
 ※賞品は予告なく変更となる場合がございます。

最新情報は前橋競輪 SNSをチェック!!
 お得な情報を随時更新!是非フォローをお願いします

就任
 最新情報
 就任

QRコード

X(旧Twitter) @maebashi_megumi
 Facebook @maebashikeirin.official
 Instagram maebashi_keirin_official
 LINE @maebashikeirin

群馬発!競輪選手(女子・男子)育成プロジェクト
 GTRとは“群馬トレーニングレース”の略称で、地元・群馬支部選手を養成し誕生させるため、前橋競輪が立ち上げたプロジェクトです。詳しくは前橋競輪HPよりアクセスしてください。

ネットで、車券を買うなら **オズパーク!** 前橋決戦!

【お問い合わせ】オズパーク新橋会員登録受付センター 10:00~21:00 (休)0120-953-620 (休)0120-953-620

楽天で競輪 **K-POINT** 貯まる!使える!

0570-055-005 (TELカスタマーセンター) または 03-5796-2873 受付時間 12:30~17:30

競輪・オートレースの車券が買える **Gambo**

国内史上最高の払戻し! 最大12億円

競輪 総合メディア **netkeirin** Now On Release!

あらゆる競輪情報がここにある

公営競技は始めるならウィンチケット! さらに機能も充実!

3つのメリット
 ① AI予想搭載!! 初心者でもかんたん投票
 ② レース映像はどよりも高画質!
 ③ 登録は最短1分で完了!

ピストファン vol.216 2023年12月号

発行人: 前橋競輪
 企画編集: e-SHINBUN

史上最強のメーカー！渡邊晴智

今節の競走得点トップはレジェンドレーサーと言ってもいい渡邊晴智。まだ、オーラを身にまとうておりタテ脚も健在。輪界最強のメーカーで、G1覇者だし存在感も際立つ。A級落ちの今期は11月中旬の時点で4度のVがあり、一度も決勝を外していない。いくら実力者とは言え、展開に左右されるメーカー選手だし、素晴らしいとしか言いようがない。50歳になったが、来期のS級復帰も楽しみだ。南関ラインで近藤夏樹のカマシ、捲りを目標にする。その近藤は、目立ったヒットはないが、8月開催の立川で完全優勝。来期はS級に戻り、いつもよりワンテンポ早く仕掛けたい。関東ラインの先導役は中村隆生。雰囲気と戦法は眞杉匠2世と言っても過言ではない。仕掛けるスピードと長い距離を踏めるのが武器。同地区の小田倉勇二が目標にするが、地元のア斐康昭や稲村成浩のマークも考えられる。荒木貴大は先行が持ち味だが、11月開催の富山では山本修平の番手で優勝している。

北日本は夫婦二人三脚で頑張っている鈴木涼介が復活気配。捲りが主戦法だが、意識的に長い距離ももがいている。予選は危なげなく勝つだろう。

遠征勢は松田大、後藤彰仁、篠原忍で連係して混戦待ち。篠原は美家も群馬に残っており、やる気満々だ。

2班からの地元選手は若林耕司で目標には恵まれそう。競走得点より脚はあるので、決勝進出も可能だ。



A級レース展望

ガールズレース展望

ドーム得意な尾崎睦の完全優勝！

ビッグレースでも活躍していた尾崎睦。ピーチバレー出身の妖精で、天性のアスリット。失格過多でグランプリに乗りこなすからリズムを崩していたが、それも今年になり吹っ切れた様子。6月開催の岸和田パールカップ(G1)では、結果が出なかったが普通開催では圧倒的な強さを見せている。郡司浩平みたいな綺麗な捲りが持ち味で、当地では何度も優勝と、バンクとの相性も良い。11月開催の豊橋で400勝も達成して、次は500勝、600勝を目指す。

藤田まりあの近況も充実している。まだトップクラスの選手とは力の差があるが、来年は大きなところで活躍するだろう。先行は苦手だが、捲りは冴え渡っている。このバンクの特性を考えると、ロングスパートも視野に入りたい。

地元のアイドル、河内桜雪は負けん気魂の塊。あの強気なレーススタイルは、おしとやかな普段の彼女と、かなりギャップがある。そこも魅力かもしれない。いつも通りシビアに前々に攻める。もうひとりの地元神澤瑛菜は、確定板に載るのが目標だ。野口諭実可は、別府を拠点にしているが、群馬の実家にも時折、顔を見せている。デビュー時は代謝のピンチもあったが、豊富な練習量で実力アップ。基本的にマーク選手だが、自力でも勝てる様になってきた。キャラは立っているから、ユニークな選手でもある。

加藤舞は自力選手だが、展開に応じた攻め。7月開催の大宮と8月開催の久留米で準優勝。今節は決勝3着以内なら十分狙える。

佐伯智恵は勝負強い。位置取りは確かなので、自然と良い位置をキープ。3連単要員として欠かせない選手だ。

■ 出場予定選手(A級) ※2023年11月17日現在のデータです。

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	八嶋 稔真	113	北海道	十文字 菊雄	75	福島	坂口 卓士	88	福島	鈴木 涼介	115	福島
	中村 隆生	117	栃木	稲村 成浩	69	群馬	甲斐 康昭	89	群馬	小田倉 勇二	91	埼玉
関東	荒木 貴大	115	埼玉	小宮 剛	82	東京	相楽 修	78	千葉	江本 博明	90	千葉
	近藤 夏樹	97	千葉	高木 隆弘	64	神奈川	渡邊 晴智	73	静岡	栗田 雄矢	96	静岡
南関東	篠原 忍	91	愛知	山田 哲也	99	愛知	後藤 彰仁	92	岐阜	松田 大	98	富山
	南 大輔	76	京都	金田 健一郎	60	大阪	丹波 孝佑	98	大阪	玉手 翔	91	兵庫
近畿	伊藤 歩登	113	兵庫									

■ 出場予定選手(ガールズ) ※2023年11月17日現在のデータです。

地区	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県	選手名	期	府県
北日本	神戸 暖稀羽	124	北海道	鈴木 樹里	116	福島						
関東	神澤 瑛菜	116	群馬	河内 桜雪	122	群馬	藤田 まりあ	116	埼玉	黒河内 由美	110	長野
南関東	尾崎 睦	108	神奈川	吉村 美有紀	124	静岡						
中国	猪頭 香緒里	104	岡山	渡口 まりあ	114	山口						
四国	佐伯 智恵	114	愛媛									
九州	出口 倫子	116	長崎	野口 諭実可	102	大分	加藤 舞	116	沖縄			

競輪専門紙・出走表が コンビニのマルチコピー機から 24時間365日出力可能!!

セブン-イレブン FamilyMart LAWSON ミニストップ Daily ぴあ Seven Mart

eプリントサービス 03-5830-1808

小林優香 ロングインタビュー “最低な今” からもう一度トップへ

競輪女子王座戦(11月21日・23日・小倉G1)には規定の最低出走回数を満たしていないため出場できない小林優香だが、すでに気持ちは来年へと向いていた。しかし、翌年2022年9月にナショナルチーム引退を決意。約7年間の競技生活に終止符を打った。

ナショナルチームを引退する決断の大きな要因となったのは、やはり怪我でしょうか? カナダ(22年ネーションズカップ・女子ケイリン決勝)の落車で負った怪我が少しづつひどくなっていき、最終的には仙骨骨折に仙腸関節炎、腰の疲労骨折を併発していることが判りました。多分、腰の疲労骨折は元々あったと思うんですけど、仙骨骨折や関節炎は落車が原因だとも思います。その影響でサマーナイト(7月・玉野GII)では歩けなくなっていましたね。(※初日のレース、競技引退を決めた要因も、と。これ以上は体が持たないし、何よりもオリンピックポイントを取る厳しさを知っているつもりなので、来年すぐにパリに向けて競技を再開できるかと言われたら「この怪我のままじゃ…」という葛藤がありました。

決断には時間を要しましたか? サマーナイトを途中欠場してから2ヶ月ぐらいいまい、コーチとも話をしましたが、最終的には自分の決断で「辞める」という結論を下しました。一時は1ヶ月間も寝たきり、もどかしい期間を過ごしましたが、小林の心は折れなかった。懸命な努力を経て戦った舞台に戻って来たい。

改めて7年間の競技生活を振り返って、得たものは何でしょうか? もちろん、練習方法など色々あるとは思いますが、やっぱり「自転車に対する向き合い方」ですね。オリンピックや世界のトップを目指して戦ったのは、食事制限で好きな物も食べられないし、メンタルもすっかりと整えなければならぬという思いで。その中で学んだのは、どんなに困難な状況にも自分自身で乗り越えていくこと、そうすればすぐに切り替えることができる。例えば、屋外の33度ですぐにガタガタのバンクで走ったことがあるんですけど、その中でうまく切り替えることができる選手がチャンピオンになる、とずっと言われ続けてきたので、競技を引退してからも、すぐに切り替わらなければならない経験が活かされていると思います。

ガールズケイリンに復帰して一年、現在、患部の状態はいかがですか? 今年の7月に腰の手術をして、まだ体を反るのはきつい状態。膝の怪我也やってくるので、治療しながらですね。出走回数も足りなくて競輪祭には出られない。来年4月にオールガールズが地元の久留米で開催されるので、来年に向けて頑張っていくかと思っています。

ガールズケイリンにG1が設立されて、率直に感じたことはありますか? 偶然、自分が競技を辞めたタイミングで、高いモチベーションを持つことができたこと、それが一年一年、しっかりと短いスパンの目標設定ができていた点では良かったな、と感じてはいたんですが…

感じていたんですが…? 正直、松戸(10月G1オールガールズクラシック)が終わるまでは「今の自分の目標って何なんだろう?」というのは多少ありましたが、やっぱり日本の競輪界の仕事で、タイトルを獲得するのはモチベーションになっています。ただ、自分では頭で分かっているんですけど、なかなかしっかりと入り込めなかったな、と松戸が終わった時に感じました。でも今はもうしっかりと来年に向けては、来年の一番目が地元のオールガールズクラシック。そこに向けて、しっかりとやっていこう、という気持ちで松戸を終わらせて、そこへ出ていきました。

それと、オリンピック、世界の頂点を目指してきたからこそ感じるものがあつたんですね。オリンピックはモチベーションになっています。ただ、自分では頭で分かっているんですけど、なかなかしっかりと入り込めなかったな、と松戸が終わった時に感じました。でも今はもうしっかりと来年に向けては、来年の一番目が地元のオールガールズクラシック。そこに向けて、しっかりとやっていこう、という気持ちで松戸を終わらせて、そこへ出ていきました。

これまでもグランプリに出場するには、一年間、賞金争いで最後の最後まで気の抜けない戦いであつたと思います。大きいと思います。来年からは4月のオールガールズクラシックで優勝できれば、残りの半年以上はグランプリに向けてリスタートもできるし、気持ち的にも楽になって今のペースでもできるかな、って思います。早く自分も復活したいです、そうそう。今、楽しくないんですけど、勝てないし楽しくないし、なかなか脚が動かないのも楽しくない。今は我慢の時だ、っていうのは分かるし、周りもそう言っていますけど、でも、やっぱり楽しくない、面白くないっていうのはある。焦りもあるけど、一戦一戦で自分自身の走りを取り戻して、この半年以上はお客さんに迷惑をかけてしまっている。来年のオールスターに繋がれるように頑張りたいです。

多くの人たちが「優香スマイル」を待っています。パールカップから取材させていただいていますが、少しずつ表情は明るくなってきました。パールのカップから取材させていただいていますが、少しずつ表情は明るくなってきました。パールのカップから取材させていただいていますが、少しずつ表情は明るくなってきました。パールのカップから取材させていただいていますが、少しずつ表情は明るくなってきました。

(笑)日々の厳しいトレーニングを積んで、極限の状態まで自身を追い込んでいますから、そのような目つきになるのも当然です。ガールズケイリンは一年を通してオフシーズンがないので、こっちはこっちはいいなって思いますが、もちろん、オリンピックを目指してやっている時もナショナルチームですごかったです。両方とも違うですがあります。

インタビューでは「早く復活したい」、「今、楽しくない」と話そうように、小林自身もビッグレースでの優勝に飢えている。多くのファンも小林が再びガールズケイリンのトップに君臨する瞬間を待っている。新たな目標を打ち立てた小林にもう迷いはない。完全復活へ、突き進むのみだ。

和田健太郎が思う S級S班とは

2020年の平塚グランプリで王者になった和田健太郎。S班時代は度重なる落車に苦戦を強いられ、S班を経験したからこそ「S級S班について」を聞いた。

まずはS班になって思う他の級班との違いについて尋ねてみた。「まずは番組では『期待の表れ』というのか。本線に推されるような組み方をされているのかなと。S、S1、S2とあるけど、同じ点数を持っていてもその中でもS班は格上というのか。それは感じますか?」

「物理的に感じるのは全部のG1で特選からスタート出来ること。これは大きいですが、もし、S班が予選スタートになってもある程度勝ち上がれるくらい力を持っているけど、レースには絡がないですからね。自分の場合は自力選手が頑張ってくれても相手との力関係で負けてしまうこともありますが、初日に体調面を見られるのも大きいですね。入ってきたときの皆の調子の良さも悪しも見られますから、それ以外では他との差はあまり感じなかったかな。」

グランプリを獲得した翌年からはS班として1年間走るわけだが、周りからの期待は言わずもな大きく感じる。その辺りについて感じたことを聞いてみた。

「当然、周りからは期待される立場だと思って見られているし、自分自身も変わっていかなくとも周りからそういう風に見られている。それは言葉じゃなくても肌で感じる部分もありましたね。特にオッズとかでは目に見えて感じますよね。」

そして、和田はグランプリを獲得した翌年に落車が5回と不運が重なった訳だが、その点については「ちょっとスピリチュアルみたいな感じになるけど(苦笑)。人生の中で使える運が決まってくるんですけど、自分もそこ(グランプリ)を獲得した瞬間に全部使い切ったと思えるくらいだった。落車もただ成績がスタボロだったのは自分でもどうしようもなかったのかな」と苦笑いで正直な気持ちを伝えてくれた。

「他の継続している平原(康多)とか(佐藤)慎太郎さんが、ずーっとある程度年齢を重ねたのに維持出来ているのは凄いなと思う。周りから一回獲れただけでも凄いなって言うてくれるんですけどね。それでも継続は出来なかった。平原なんて自分と同期だけど十年も維持していますからね。慎太郎さんなんて30数年獲得、獲らないってやっていますよ。」

「若い子がダメとは言わないし、若くてグランプリを獲得する古性君なんかは凄いなと思う。どっちが大変かまではないけど、自分と同じくらい年だからこそ、上り調子の若手よりも年齢がいった選手が位置を維持する方が大変だなと思う。」

その流れから最近の競輪界の流れ、S班によって変わってきたことを話してくれた。「最近競輪界の構造が変わってきて、眞杉匠や山口拳夫とか若い子達がタイトルを獲得して、Sに名を連ねる。でもその裏でどうやってん方式で押し出されてしまう人もいて、特に平原や郡司なんかは際どい位置にいますからね。」

「南関だと郡司は屋台骨ですからね。やっぱり、地区にS班がいることで地区自体の盛り上がり方が変わってくるのかなと。だから最近だと近畿は脇本(雄太)、古性(優作)の二大巨頭みたいな感じでしょうか。大きいレースに行けばその2人がいるっていうのはやっぱり大きいんですよ。」

勝ち上がるなら味方をより多く付けた方がいいと思うけど、周りも変わってくる。大それた見た時にはその地区にS班がいるかないかで周りも変わってくる。それだけS班の存在は大きいのだと感じるモノがあった。

